

平成9年
9月22日(金)
新潟日報

与板伝統「打刃物」 弟子入り学生ら 職人と意見交換

長岡市与板地域の伝統工芸品「打刃物」を使った作品展を、埼玉大学の学生らが2カ月間にわたり開いた。作品展の締めくくりに、会場となった同市与板町与板の与板刃物工芸館で座談会を行った。写真。学生を指導した職人をはじめ、約20人が参加。展示の成果や来年の取り組みなどについて意見交換した。

作品展は7月18日から9月17日まで開かれた。座談会は最終日前日の16日、行われた。



目指す学生たちで、自分たちが目こころ制作に使っている道具を知ろうと弟子入りしている。作品展はこれまでの活動を振り返り、学生が作った打刃物や美術作品などを展示した。

座談会では職人が「今後も研修を続けてほしい」と激励。来年の作品展では「刃物を作るための道具に目を向ける展示はどうか」「他大学の学生とも交流したい」といった意見が出た。

埼玉大4年の今井貴憲さん(22)は「美術教員になって、研修や作品展で培った経験を次世代に伝えたい」と将来を見据えた。